



日本・ラオス国交樹立60周年記念

5月mini講話



講師 西森 勢

Lecturer Nishimori sei

新緑の5月、無名の会は渋谷から離れて、本会主宰の故三井啓吉先生ゆかりの地である浦和レッズの根拠地、さいたま市の浦和で開催されました。

会場は、「中華料理 絆」。定席の渋谷「北京厨房料理」店主の新康子さんの兄 新慎太郎さん(4月例会に参加)経営のお店です。この日は、地元のまちづくりNPO「さいたま市民ネットワーク」の総会懇親会の記念講演会と共同開催。こうだ邦子参議院議員、村井ひでき衆議院議員、地元市会議員なども西森勢氏による「ぶらりラオスの旅」を興味深く熱心に聴講・学習しました。以下、講演要旨です。

序. ラオスとは…

●ラオス人民民主共和国の国土

総面積23万6,800km² ※日本の本州22万7,942km²。

人口およそ626万人、人口密度26人/km²(2010年統計)

※日本の人口密度343/km²。

民族と言語 公式には4言語(タイ系、モン・クメール系、モン・ミエン系、チベット・ビルマ系)、49の民族から構成。

●ラオス中近世・近現代史

14世紀 ファーグム王が統一国家のランサーン王国を成立。

18世紀 ビエンチャン、チャムパーサク、ルアンパバーンの3王国に分裂。

1779年 王国の弱体化でシャムの支配下となる。

1827年 ビエンチャン王国のアヌウォン王がシャム支配から脱する反乱を起こすも失敗。

1887年 ルアンパバーン王国がフランスの保護下に、1893年仏領インドシナの一部となる。

1945年 日本軍がフランス軍の武装解除。

※これをきっかけにラオスは独立宣言。

1954年 フランスとの闘いに完全勝利、名実ともに独立が成る。

1960年代 ベトナム戦争の影響を受け、アメリカとの闘いを強いられる。

1975年 12月2日、ラオス人民革命党の下に無血革命。

ラオス人民民主共和国建国。

1986年 新経済政策(チンタナーカ・マイ=新思考)による市場経済システムを導入。

1997年 ASEANに加盟、経済開放政策を進め現在に至る。

※GDPは100億ドル(2014年ラオス中央銀行)、一人当たりGDP 1,628ドル・GDP成長率8.0%(2013年ラオス統計局)。

I. 1994年武漢大学留学、学友はラオス人

1997年ASEAN加盟に向け、ラオス人留学生は同大学の本科で経済学・金融学・経営学を学んでいたと考えられる。

II. 21年後

ラオスでの再会を決行

5月の連休を利用して渡航、当然ラオスは平日。彼らの家に泊まる訳にはいかないのでホテルで宿泊。

III. 押し寄せる中国

(中国共産党)の政策

街には中国の開発事業、中国系企業の進出が多く見られる。

IV. 日本との絆

1955年ラオスとの外交関係樹立、1957年岸信介首相がラオスを訪問。

1965年 日本青年海外協力隊が派遣した最初の国はラオス。

2010年

秋篠宮文仁親王同妃両殿下、眞子内親王殿下 ご訪問。

2012年

皇太子徳仁親王殿下 ご訪問。

2013、2014年

安倍晋三首相が訪問。

・日本のODAで整備されたインフラには両国国旗がラオス政府により掲げられている。

・JICAの支援:市民のバス路線にイーグルバスの運行システム導入。・学友たちの愛車はTOYOTA。



チナイモ浄水場視察



浄水場建設に謝意を示した銘板



路線バスは日本のシステムを導入



夜会は深夜12時半まで及ぶ



ナイトステージで学友が自慢の歌を披露



V. 学友たちの歓待

学友たちは昼も夜も歓待してくれた。どう考えても昼休みとも思えない時間帯に食事や観光に案内してくれるので、「職場に戻りなよ」とこちらが気をもんで言うが、彼らは「同じ大学で苦楽を共にした仲だから、放って置けない」の答え。この言葉を受け、以後の交友録も続くこと相違なしと、心底感動した。



大型モニターを使つての講演



VI. さいたま市水道局が手掛ける

ビエンチャン市チナイモ浄水場を視察

首相府秘書に勤める学友が党中央職員を随行し、さいたま市水道局が建設、メンテナンスを実施中のチナイモ浄水場をさいたま市民ラオス友好協会代表として視察。取水口、沈殿槽、塩素消毒の一連の設備を見ることができました。

終わりに、ビエンチャン観光地の紹介

ビエンチャンの主な見どころ多数ございますが、4点紹介させていただきます。

- **パトゥーサイ(凱旋門)**: 壁面に仏教やヒンドゥー教にちなんだ浮き彫り、中央のドームの天井には「ラーマヤナ」が描かれている。
- **アヌウォン王銅像**: メコン川のプロムナードに2010年に建立。
- **ワット・シエンクアーン寺院(通称ブッダ・パーク)**: ユニークな仏像彫刻を展示した公園。
- **タート・ルアン大仏塔**: 黄金の大仏塔はラオス観光広告によく登場する。伝説によれば、紀元前3世紀にインドから仏陀の遺骨を納めに来た使者が立てたという。

文責: さいたま市民ラオス友好協会
筆頭参与 西森勢

参考引用文献: 『ラオス』観光公式ガイド ラオス情報文化観光省監修 藤田昭雄編 株式会社めこん、『ラオスを知るための60章』菊池陽子 鈴木玲子 阿部健一編 明石書店



7月無名の会

7月25日(土)Pm6時～
会費3,000円 北京厨房料理
☎03-3770-6881
渋谷センター街 井之頭通り歩8分

景気よく暑気払い!

THK 宝★包装局 No.18 アイデンティティー

「アイデンティティー」は「自己同一性」と訳される。国や人種を超え似た概念はあっても、しっくりとくる言葉は見つからない。人は姿形から普遍的な存在のようにも思われるが、これほど多様な生物は他にならう。地球の存在そのものが、固有の環境に生かされている生物の証左である。「アイデンティティー」は桜梅桃李、環境に育まれる無二の個性である。だからこそ熟と時間をかけ、深く地に根を張った個性に優る武器は他にない。

宝 坂 健 児
(ジェイバックワールド株式会社 代表取締役社長)